



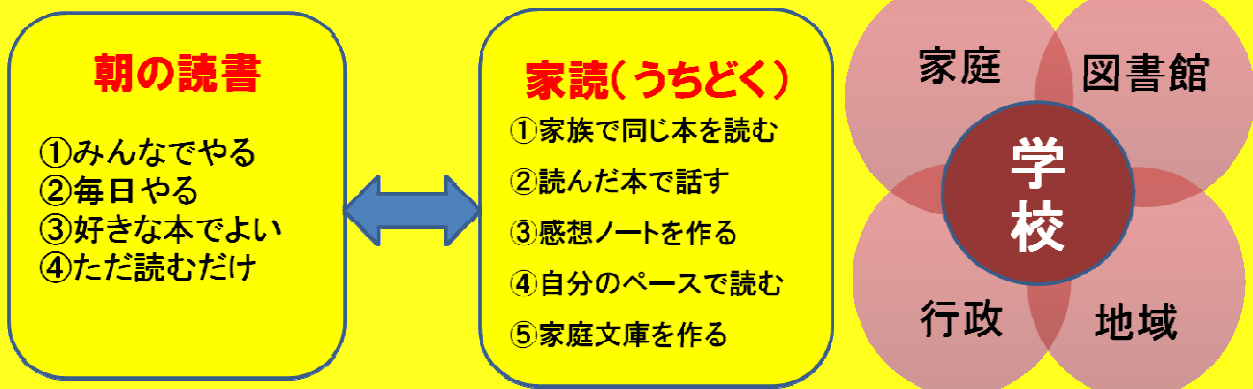
うちどく通信

編集・発行
日田市光岡公民館
光岡家読推進連絡会
TEL 23 - 8984

うちどく(家読)で広がる 家族のコミュニケーション!

「うちどく(家読)で豊かな人づくり・まちづくり」と題した家読推進プロジェクト代表の佐川二亮さんの「うちどく講演会」の要旨は、公民館だより(2月15日号)でお知らせしましたが、今回はうちどくの方法などについてお知らせします。

「朝の読書」と「うちどく(家読)」は子どもの成長の栄養素



なぜ、いま読書なのか?

☆子どもたちに学びの力を

読書は…

- ①学びの集中力をつけます。
- ②想像力をつけます。
- ③主体性を育てます。

☆子どもたちに安らぎを

家読は…

- ①家族の会話がはずみます。
- ②話し合う力がつきます。
- ③子どもの優しさが育ちます



家読をはじめましょう

☆うちどく(家読)は

- ・家庭読書の略称です。
- ・読書をきっかけに、家族のコミュニケーションを豊かにしませんか。

☆家読のやり方は?

- ・やり方に決まりはありません。
- ・家族一緒に読書を楽しむ時間を過ごし、そこから広がるコミュニケーションを大切にしてください。
- ・「我が家流」が一番です。
- ・家族でうちどく(家読)の日を決めて取り組んでみませんか。
- ・うちどく(家読)日は、ノーテレビ・ノーゲームの日にし、家族でコミュニケーションを!

うちどく(家読)に期待する声!

先般の「うちどく講演会」に参加した皆さんに終了後アンケートを行いましたので、お寄せいただいた声の一部を紹介いたします。

- ゲーム世代で育った私たちが親になり、子どもの成長につれ会話も少なくなりました。これから休みは家族でゲームをする時間を読書に充てたいと思います。
- 改めて読書の大切さが分かりました。読書を見直す家読をぜひ我が家でやってみたい。
- 週に一回10分だけでも家族みんなで読書をしてみたいと思います。
- 子どものいじめは家庭でのコミュニケーション不足が原因、家読を始めることで少しでも無くなればよい。
- 今の世の中、親も子も忙しすぎる気がします。少しゆとりを持って本を読み、コミュにケーションすることが一番大切だと思います。もう少し早くこのようなよい話を聞きたかった。

- 家読は奥が大変深く、人生に大きな影響があることなどいろいろと考えさせられた。今、いじめなど子どもに関する社会問題が取り上げられていますが、家読という小さな取り組みから大きな成果が出ると思う。
- 自分が出来なかったことを少しでも孫たちにしてやりたいと思う。やはり本を読むということはとてもよいことだと改めて思いました。これから実践できるように頑張りたい。
- 家読で本をとおして子どもと時間を共有して会話することはとてもよいことだと思う。
- 一日10分でも本を読むということを持続できればよいということが分かった。家読を始めてみようと思う。
- 家読の取り組みを公民館、学校、地域が一体となってぜひ広めてもらいたい。



読書好きが多い光岡

光岡家読推進連絡会では、光岡小学校・光岡保育園・みそら保育園のご協力をいただき「家庭における読書実態調査」を行いました。その中の光岡小学校の結果は次のとおりで、子どもと大人もよく本を読んでいます。

問) お子様は、家で本を読んでいますか?

	回答数	構成比
(1) 毎日読んでいる	75	16.5%
(2) 時々読んでいる	319	70.1%
(3) 読んでいない	61	13.4%
計	455	100.0%

問) お家の方は、家で本を読んでいますか?

	回答数	構成比
(1) 毎日読んでいる	26	5.7%
(2) 時々読んでいる	280	61.5%
(3) 読んでいない	148	32.5%
無回答	1	0.2%
計	455	100.0%

問) 読んだ本について、ご家族でお話しをすることがありますか?

	回答数	構成比
(1) ある	310	68.1%
(2) ない	139	30.5%
無回答	6	1.3%
計	455	100.0%

問) ご家族で読まれる本はどこの本ですか?

	回答数	構成比
(1) 淡窓図書館	175	22.2%
(2) 小学校図書館	309	39.2%
(3) 購入	267	33.8%
(4) その他	27	3.4%
無回答	11	1.4%
計(複数回答)	789	100.0%

問) 「うちどく(家読)」という言葉聞いたことがありますか?

	回答数	構成比
(1) はい	166	36.5%
(2) いいえ	288	63.3%
無回答	1	0.2%
計	455	100.0%



アンケートにご協力いただきありがとうございました。